

東アジア文化演習

2単位 (選択) 3年 (後期), 4年 (後期)

有馬 卓也・教授 / 人間文化学科

【授業目的】より高度な思想・文学関係の文献を講読しながら、中国の思想・文化を考えていこうというものである。アジア思想研究の次のステップである。一つの文献を歴史・思想・文学・文化という枠組みにとらわれずに理解・把握することの訓練である。

【授業概要】今年度は、中国文化の一つである龍、及びその居城である竜宮について、いくつかの切り口から分析していく。そして、中国文化の一側面を明らかにしていきたい。

【キーワード】龍, 伝説の研究, 中国文化

【到達目標】竜宮伝説を通して、中国文化を理解するとともに、人間の普遍的な理解を試み得る目をもつこと。

【授業計画】

- 1) ガイダンス
- 2) 竜宮伝説解析のための方法論
- 3)~4) 龍の属性
- 4) 5)~6) 「柳子華」の検討
- 5) 7)~9) 「柳毅伝」の検討
- 6) 10)~12) 「龍女伝」の検討
- 7) 13)~15) 「李衛公別伝」の検討
- 8) 16) 総括

【成績評価】演習形式で行う。出席点と発表内容を総合して評価する。出席は一回につき3点。欠席をする場合、あらかじめ連絡を入れること。連絡があった場合の欠席と無断欠席とは評価が異なるので注意。詳細は第一回目の講義の時に連絡する。

【再試験】なし。

【参考書】方法論に関連して小松和彦氏の以下の文献を挙げておく。すべて読んでおくこと。『神隠し』(), 『憑霊信仰論』(講談社学術文庫), 『異人論』(ちくま学芸文庫), 『悪霊論』(ちくま学芸文庫), 『日本妖怪異聞録』(講談社学術文庫)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220108>

【連絡先】

⇒ 有馬 (088-656-7119, arima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL